



『幼児期の性教育について』

子どもが成長していく過程で、自分の身体がどのように成長していくのか、男女の身体の違いは何かなど、性に関する正しい知識を理解することが大切です。しかし、日々の生活の中で、親から子どもへどのように伝えればいいのか悩むことも多いと思います。今回は乳幼児期の性教育についてご紹介します。

🌱 まずは「人はそれぞれ違うこと」を伝えることから

人の見た目や考え方、成長のスピードは一人一人異なります。また、家族の形など背景も様々です。「人はそれぞれ異なり、一人ひとり大切にされる権利がある」「あなたはなりたいたいあなたになっていい」と保護者自身が理解し、子どもにも繰り返し話していきましょう。

🌱 男女の身体の違い

子どもが成長していく中で、自分の身体について知りたいと思うのは自然なことです。

☆伝える際のポイント☆

- 男女の身体について子どもに話す際は、「ある・なし」ではなく共通点と相違点を意識しましょう
- 幼児期は無理に正式名称を使うよりも、家庭でなじみのある呼び方で構いません

「〇〇はどちらにもあるけど形が違うね」

「おしっことうんちの出口は、男の子にも女の子にもあるね。女の子の身体には、もう一つの赤ちゃんの出口があるよ」等

🌱 プライベートゾーンについて

プライベートゾーンは、「自分の身体の大切なところで、必要な場合をのぞいて誰かが自分の同意なく見たり触ったりしてはいけないところ」です。具体的には、「水着で隠れる部分（胸、おしり、性器）と口」を指します。プライベートゾーンについて幼児期から保護者が伝えることで、自分の身体はもちろん、周りの友達の手体も大切にす気持ち育めるようになります。

こんな時はどうする？お悩み



Q「赤ちゃんって、どこからくるの？」と聞かれた！

☆ポイント☆

- ☑はぐらかしたり，ごまかしたりせず，子どもにもわかりやすい言葉で説明しましょう
- ☑「いい質問だね」と子どもの質問を肯定しましょう
- ☑「どうしてそのことを知りたくなったの？」と，子どもが何について知りたいのかを確認しましょう

「大人の男の人の身体の中では，赤ちゃんのもととなる種（精子）を作っているよ。女の人の身体の中では，赤ちゃんのもととなるたまご（卵子）を作っているよ。男の人はおちんちんを使って，赤ちゃんの種を女の人に届けるよ。だから，それぞれ形が違うんだよ」等


Q 子どもが性器や排泄物の名称を連呼して騒いでいたら？

☆ポイント☆

- ☑子どもは，性器や排泄物の名称（おちんちん，うんち等）を口にした際の大人の反応を見て楽しむことがあるため，大人が過度に恥ずかしがる・叱る・慌てる等の反応をしないようにしましょう
- ☑過度に反応せず，騒いでいたら他の遊びに誘うなど気を逸らせましょう。

子どもが落ち着いたら…

「おちんちん／おまた／うんち／おしっこという言葉にびっくりする人もいるので，大きな声では言わないよ」等

 性教育を学べる絵本を活用することもひとつの方法です。
親子で一緒に学んでいきましょう！

<参考・引用文献>

・性教育サイト命育 「乳幼児の性に関する情報提供」-保健師や親子に関わる専門職のための手引き- https://meiiku.com/mhlw_guide/

函館市では，お子様の発達，育児，栄養，むし歯予防などについて，保健師，管理栄養士，歯科衛生士などが相談に応じています。一人で悩まず，どうぞご相談ください。

健康・発達・育児のこと	子ども未来部母子保健課	Tell32-1533
	東部保健事務所	Tell86-3033
食事・離乳食のこと	保健福祉部健康増進課	Tell32-1515
むし歯予防・フッ素塗布のこと	函館口腔保健センター	Tell56-8148